



令和6年度 秋田大学教育文化学部附属小学校
公開研究協議会Ⅱ

令和6年12月2日(月)

ご参会いただきましてありがとうございます

今年度の公開研究協議会の特色

提案授業を通していま学校が抱えている様々な教育課題を共に考えてみませんか

生活のドラマと学びのドラマを紡いで授業をつくる

教師の資質向上

若手教員の育成に資する校内研修デザイン

多様性理解につながる授業づくり

生活科・総合的な学習の時間を軸とした

カリキュラム・マネジメント

ICTを活用した個別最適で協働的な学び

授業観や教育観を共有し、授業を通して学校の在り方そのものを語る場に

生活のドラマと学びのドラマを紡いで授業 をつくる**教師の資質向上**

学びのドラマ
＝問題意識の変遷、試行錯誤、
ともに活動した仲間など



生活のドラマ
＝得意・不得意、
関心の有無、こ
だわりなど

教材や教具、教師の手立てが一人一人の子どもにとっての「処方箋」となるように

#若手教員の育成に資する校内研修デザイン



若手同士の協働により授業観や学習者観のアップデートを図る

若手を支えるベテランとミドル

50代は挑戦する姿勢を背中で見せる
単元開発や取組の抜本的改善など、教員の力量形成に終わりはありません

40代は学校全体を見渡し、教員同士をつなぐ
学年主任や分掌の長に登用し、ミドルリーダーとしての自覚を育みます

一人で抱えない
みんなが当事者
試行錯誤と挑戦



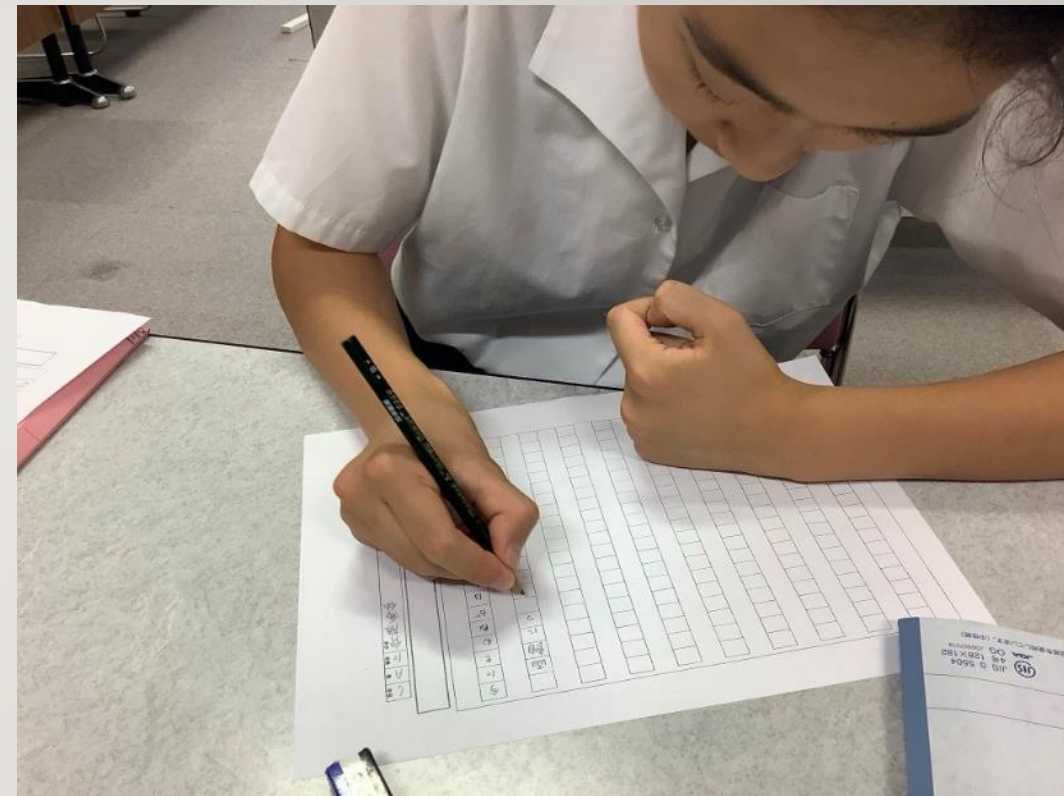
自ら学び続ける教員、未知の課題解決に向けて協働できる同僚性

多様性理解につながる授業づくり



互いの話に耳を傾けることで、自分との違いや相手の得意・不得意、好き・嫌いを受け入れ合う基盤を育みます

自分の好きなことを、自分のペースで、自分のやり方で学ぶ「非同期」の学び
⇄ つなぐ
みんなで共通の話題をみんなの力で解決する「同期」の学び



何を、どの文種で、どんなペースで書くかなど自己選択・自己決定を重視した作文ワークショップを4年生以上で実施しています。

非同期の学びと同期の学びの絶え間ない往還による授業デザイン

#生活科・総合的な学習の時間を軸とした カリキュラム・マネジメント



附属幼稚園との日常的な交流を通して栽培活動や季節行事に取り組み、遊びの中の学びの意味を再確認しています。

「越境」する学びを通して自他のよさや可能性を広げる



株式会社アウトクロップさんをお招きした150周年記念映画制作ワークショップで、秋田で映像表現をすることの意義を学んでいます。

遊びと学び、地域と学校…様々な垣根を越えるカリキュラムマネジメント

ICT を活用した個別最適で協働的な学び



使いたい人が、使いたいときに、目的に応じて、文房具として

一人一人のメディア特性に応じた柔軟な活用を

研究主題

自律した学習者を育てるⅡ

研究副題

子どもと教師でつくる「学びのもののさし」
(3年次) [最終年次]

研究主題

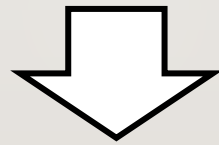
自律した学習者を育てるⅡ

研究副題

子どもと教師でつくる「学びのものさし」
(3年次) [最終年次]

学びのものさしとは

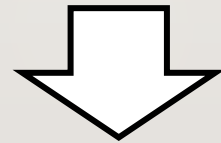
学習者が自らの学習状況の
到達度や達成度を見定める規準



単元・題材の中で
省察するために何度も働かせる

学びのもののさしとは

これからの学びの方向性を見いだし
自ら学びを進めるための指針



自らの学びを調整しながら
各教科等の本質に迫っていく姿
「自律した学習者」

「学びのもののさし」の要素

教科内容

①見方・考え方

各教科等の単元・題材に合わせて
具体化・焦点化したもの

②学習方略

認知方略・学習行動・学習環境

教材内容

③単元・題材で身に付ける資質・能力

5年家庭科クッキング はじめの一步 ～ゆでマスターへの道～

「学びのもののさし」

教科内容

- ①見方・考え方：調理の仕方と食品の様子
- ②学習方略：食品の調理と食べ比べる活動

教材内容

- ③調理の仕方の違いによる食品の変化に気付く



1年次の重点

子どもの中に
自己の学びを見つめる
「ものさし」を生み出す手立て

1 年次研究の成果

1 自己の学びを見つめ直す規準の 自覚を促す支援

① 困ったことや捉えが揺らいだことを
表出する場面の設定

→ 活動の目的意識を高める姿

② 共通点や相違点、多角的な考察を踏まえ、
自分の解釈を説明する活動の設定

→ 物事を捉えるための新たな視点を獲得する姿



1 年次研究の成果

1 自己の学びを見つめ直す規準の 自覚を促す支援



③ 目標に照らした到達度や達成度の根拠を
具体化するしかけ

→ 自らの学びを分析的に見つめる姿

④ 仲間をモデルとしたり、フィードバックを
得たりする場の設定

→ 必然性をもって自分の学びを見つめ直す姿

1 年次研究の成果



2 見通しをもちながらよりよく問題
解決する活動を位置付けた学習過程

- ① 教科等の原理原則を用いながら最適解を
追究する活動の設定
- ② 「選ぶ→試す→修正する」活動が複数回設定



よりよい問題解決のために思考し直す姿

1 年次研究の課題

▲必然性をもって自らの学びを
見つめ直し、深めていくための
手立て

2年次の重点

「学びのもののさし」を
更新するための手立て

2年次研究の成果



1 自分事として問題解決に向かう姿を引き出す支援

① 一人一人が問題解決に向けて選択・決定できる活動の設定

→ 自らの興味・関心に応じて、教材や素材、立場、表現方法などを選択・決定し、問題解決を自分事として追究する姿

2年次研究の成果



① 自分事として問題解決に向かう姿を
引き出す支援

② 自分にとってのモデルの発見につながる
場づくり

→ モデルの思考や表現のよさを取り入れ、
自ら学びの質を高める姿

2年次研究の成果



2 必然性を伴った学びの見つめ直しを 促す支援

- ① 比較につなげるための思考や表現の可視化
→ 一度立ち止まって自らの学びを見つめ直し、
思考を深めたり表現を豊かにしたりする姿

2年次研究の成果



2 必然性を伴った学びの見つめ直しを
促す支援

② 協働的な省察が生まれるしかけ

→ 必要感をもって仲間と情報共有し、問題解決
する姿

2年次研究の課題

▲一人一人がよりよい問題解決に向けて学び進めるための
授業デザイン

3年次の重点

「学びのもののさし」を働かせる
学びのデザイン

3年次の重点を支える取組

①一人一人が自らの経験や興味・関心、
学びやすさに応じて選択・決定し、
問題解決する活動の設定

②協働的な省察が生まれるしかけ

「学びのもののさし」を働かせて自律的に学ぶ子どもの姿（4年算数）



180°より大きい角の大きさは、どうやって測ったらよいのかな。180°までなら分度器で測れるんだけど。なるほど。友達は180°とあと何度あるか考えたんだ。私の発見した角でもその方法が使えそうだから、試してみよう。

「学びのもののさし」を働かせて自律的に学ぶ子どもの姿（5年家庭科）



じゃがいもをゆでる時間を
10分と15分の二つで場合
で調理し、比べてみよう。



15分の方が中がほろほろし
ていて、甘みもあるね。10
分だと固くて甘みが少ない感
じがしたよ。

じゃがいもをゆでるための
ちょうどよい時間がありそう
だね。

6月オープン研修会

5年家庭科「クッキング はじめの一步 ~ゆでマスターへの道~」の提案授業の様子から

「学びのもののさし」を働かせて自律的に学ぶ子どもの姿（5年国語科）



ぼくは主人公がはずかしがりやのところに共感したよ。気持ちが表れるように主人公の立場から物語を書きかえてみよう。



ぼくは主人公がはずかしがりやだと思ったけれど、友達は優しい人柄や勇敢な人柄だと考えているんだ。文章のどこからそんなふうに考えたんだろう。同じ物語を読んだのに、捉え方に違いがあるんだな。

「学びのもののさし」を働かせて自律的に学ぶ子どもの姿（6年算数科）



表の上の項目の数は増えていくけれど、下の項目の数は減っていくね。しかも、減り方は一定ではない。これは比例ではないね。

あっ。反比例という言葉聞いたことがあるよ。教科書で調べてみようよ。確かに、反比例と書いてあるね。

この表を縦に見ると、上の数字と下の数字をかけると、どこも同じ数になるね。

「学びのもののさし」を働かせて自律的に学ぶ子どもの姿（6年体育科）



テーマが「祭」だから、竿灯をあげている様子を表現に取り入れたい。

本物の竿灯に近付くためには、何がまだ足りないのだろう。

動画を見てみたら、手の向きと目線が気になったから、そこを変えてみよう。

5月校内研修会

6年体育科「表現運動 ABCDancing～Artistic Beautiful Creative～」の提案授業の様子から

「学びのもののさし」を働かせて学ぶ自律した学習者の姿（6年社会）

歴史調査～秋田の戊辰戦争とは！？～ (問) 秋田の

戊辰戦争を象徴するベスト3は

1位 わかものせ。とく。
2位 えんぐん
3位 仙台藩のししやと切る。
(CIVIL)
2位

ランキング
1位 奥羽越列藩同盟と
明治新政府と、ど
ちうとモ手をつかは
2位 九州からの援
4藩

1位 援軍
2位 奥羽越列藩同盟
3位 薩摩藩長州藩の存在

秋田の戊辰戦争を象徴するベスト3
1 若者の主張(選擇)
2 九州や佐賀からの援軍
3 胸糞者数

1位 援軍
2位 奥羽越列藩同盟
3位 明治新政府軍(旧江)

秋田の戊辰戦争を象徴することの一位に、明治新政府側である佐賀藩や薩摩藩などの九州から援軍が来たことで勝利につながったことを挙げている考えが多いな。

でもぼくは、秋田藩の若者が明治新政府側につくべきだと藩主を説得したことがきっかけで秋田の戊辰戦争が始まったのだから、一位は若者の説得だと考えているよ。

本日はご指導よろしくお願いたします

